和歌	山工業高	等専門学村	交 開講年度 令和04年度 (2	2022年度)	授業科目	保健・体育	
科目基礎	 礎情報						
科目番号	ļ	0072		科目区分	一般 / 必		
受業形態	<u> </u>	演習		単位の種別と単位			
用設学科		電気情幹	最工学科	対象学年	4		
開設期		通年	,	週時間数	2		
数科書/教			等保健体育	ALE: 51=3XX	<b>  –</b>		
<u> </u>			弘,中出 明人,芥河 晋				
<u>= 3 3 6</u> ]]達目		<del>                                    </del>					
建康で活 体的、精 生涯にわ ニケーシ	力のある心神的な特徴 神的な特徴 たる運動習 ヨン能力を	を理解し、名	その維持は、本校在学中のみならず、卒 各種の運動の実践を通じて、自己の身体 目指す。また、ルールや規則を守りなが 目標とする。	への認識を深め、健	康・体力・運動	能力の保持・増進を図るとともに、	
レーノ	リック			_			
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目 1			各授業に出席して積極的に運動等 の課題に取り組み、健康・体力・ 運動能力の増進を図ることができ る	各授業に出席して 取り組み、健康・ の増進を図ること	体力・運動能力	各授業に出席して運動等の課題に 取り組み、健康・体力・運動能力 の増進を図ることができない	
评価項目	12		各競技の特性や特徴を十分に理解 し、基礎動作を高いレベルで実践 できる	各競技の特性や特 礎動作を実践でき	徴を理解し、基 る	各競技の特性や特徴の理解が不十 分で、基礎動作も実践できない	
評価項目 3			各種運動のルールや授業を進める 上での規則を十分に理解し、授業 運営に積極的に参加できる	各種運動のルール 上での規則を理解 参加できる		各種運動のルールや授業を進める 上での規則の理解が不十分で、授 業運営に参加できない	
学科の	到達目標	項目との関	<b>具係</b>				
A IABEE A							
教育方法	<b>広寺</b>		# 6 ± 6 ± 1 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b>任団は他</b>		- VED-4-12" - 11-11	
既要		動。健康 できる。	J作りを目的とした運動や、個人技能・ 限と運動の関係を理解し、卒業後も生涯 ようになることを目指す。	スポーツとして運動	を継続できるよ 	う全員が楽しめるような競技運営カ	
受業の進	め方・方法	授業内容 にゲー <i>L</i> なお、3	通して授業は週1回開講。後期はAとBの 学は前学年までに授業があった種目につ 」を行う。種目よって実技テストを課す F候、授業実施場所の状況等何らかのや	いてはゲーム中心で ことがある。 むを得ない事情があ	、初出の種目に る場合、授業内	ついては基本練習から始めて最終的 容を変更することがある。	
<b>注</b> 意点		一たて体操動学こうにはいない。	D理由により屋外種目実施が困難な場合 にびバドミントンを交互に行う形で実施 それ以降はそれまでの流れのままパレ 重目の振替種目として扱うこととする。 またはそれに準ずるスポーツウェアを着 を着用すること。 3場合は事前に見学カードに必要事項を ハう科目の特性上、授業への参加状況( 平価対象となるので留意すること。 コナウイルス対応等が必要となった場合	する。なお、悪天候 ・ ボールとパドミン 雨天種目の実施に伴 ・	が続き、予定さ トンを交互に行 い実施種目が前 体育館実施種目 提出すること。 とを行うといっ	れていた雨天種目を完了してしまっい、それを雨天時に実施予定となっ後することがある。 は体育館シューズ、屋外実施種目は 腕時計、アクセサリーは身に着けなた態度等)も下記の「参加状況」に	
受業の	屋性・履	<u> </u>		100000000000000000000000000000000000000	., 0000	0	
	<u> 西  エ   / を</u> ティブラー		」 ICT 利用	□ 遠隔授業対応			
	<u> </u>					大物性歌ののも教具による技	
·⊠₩≣∔ī							
受業計	<u> </u>	週	<b>运</b>	l ve	ヨブレクシャロュ	5	
前期			授業内容		過ごとの到達目標 マニゴの場のナギ		
		1週	ゴルフ①   - ブルフ②		クラブの握り方を知り、ショートスイングができる		
		2週	ゴルフ②		ププローチショット、フルショットができる		
	1stQ	3週	ゴルフ③		ピンを狙ったショットができ、コース練習ができる		
		4週	ゴルフ④		実技試験を兼ねてコースをまわれる		
		5週	ソフトテニス①	基	基礎練習後、試合ができる		
		6週	ソフトテニス②		基礎練習後、試合ができる		
		7週					
		8週	ソフトテニス④		基礎練習後、試合ができる		
	2ndQ	9週	中間試験期間		- *-		
		10週	雨天種目バレーボール①				
		11週	雨天種目バドミントン①		全員が楽しめるようなゲームを行える		
		12週	卓球				
			<u> </u>		基礎練習後、試合ができる		
		13週	卓球		基礎練習後、試合ができる		
		14週	卓球		基礎練習後、試合ができる		
		15週	卓球		基礎練習後、試合	かできる	
		16週					
		1週	【A】ソフトボール①	基	基礎練習後、チー	-ムで協力して試合ができる	
後期	3rdQ	2週	【B】硬式テニス①		<u></u> ラケットの握りを	⋶理解し、ストローク、サーブ、ボⅠ	
		2週	【B】使式テ二人①		-等の基礎技術を	習得する	

	-	 B週	[Δ]	ソフトボール	<u>(2)</u>	基礎練習後、チームで協力	ルア試合ができ		
	<u> </u>	<u>過</u> 過	1	グラーホ ハ 硬式テニス②		ストローク、サーブ、ボレ			
	<u> </u>	. <u></u> .週		ソフトボール		基礎練習後、チームで協力			
	<u> </u>	· <u>~</u> 5週		硬式テニス③			基礎後術を身につけ、ゲームができる		
	7週			ソフトボール		基礎練習後、チームで協力して試合ができる			
	8週			硬式テニス④		基礎後術を身につけ、ゲームができる			
	9週 10週 11週 4thQ 12週 13週			式験期間					
			バス	通】選択① ケットボール、 証目を選択	バレーボール、サッカー、卓球か	各種目、学生自らが内容を うな競技運営ができる	立案し、全員が	楽しめるよ	
			【共i バス	通】選択② (ケットボール、バレーボール、サッカー、卓球か		各種目、学生自らが内容を立案し、全員が楽しめるような競技運営ができる			
4			【共i バス	1種目を選択 (共通】選択③ スケットボール、バレーボール、サッカー、卓球か		各種目、学生自らが内容を立案し、全員が楽しめるよ うな競技運営ができる			
			【共i バス	程ロでと選択(4) 【グットボール、バレーボール、サッカー、卓球か			各種目、学生自らが内容を立案し、全員が楽しめるよ		
		4\E	+	目を選択					
	<del> </del>	. <u>4週</u>		[A] 雨天種目バレーボール③   [B] 雨天種目バドミントン③		全員が楽しめるようなゲー			
	<del> </del>	. <u>5週</u> .6週	[R]		・ニントン③	全員が楽しめるようなゲー	-ムを仃スる		
			/ <del>774</del> 2121		: C 4m				
	アカリキュ		ノ子省	内容と到達			70.24	1424A7A	
分類		分野		学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週 前1,前2,前	
					チームのメンバーとしての役割を打	巴握した行動ができる。	3	5,前6,前 7,前8,前 10,前11,前 12,前13, 14,前16, 4,後2,後4,後2 3,後4,後8,後11,後 5,後8,後11,後 12,後13, 14,後16	
分野横断的 能力	態度・志に 性(人間力		志向	態度・志向 性	リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。		3	前1,前2,前3前4,前55前6,前前前113,前前前113,前前前114,前16,14,後2,後後後後11,後後後後後11,後後後後11,後後後後11,4後416,後416	
					法令やルールを遵守した行動をとれる。		3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 10,前11,前 12,前13,前	
								1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後16	
評価割合								10,俊11,俊  12,後13,後	
評価割合		参加	四状況		技術習得度または授業理解度	学習意欲および授業進行への言献度	合計	10,俊11,俊  12,後13,後	
評価割合総合評価割合	3	参加 70	口状況		度	学習意欲および授業進行への貢献度	合計 100	10,俊11,俊  12,後13,後	